

11月

月間指導計画

0歳児



保育目標		こまめな水分補給や午睡時の布団の調整をしてもらい、快適に過ごす。 戸外遊びに積極的に参加し、体を動かして遊ぶ。			
子どもの姿		肌寒い日が続き、風邪症状が出たり保育中の体調の変化が見られる。 戸外遊びから戻ると、自分から手を洗おうとする。 保育士の語りかけに喃語や表情などで応え、やり取りを楽しんでいる。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	生活リズムを整えて過ごす。 手洗いをすることで、清潔を保つ。	十分な睡眠時間が取れるよう、戸外遊びに積極的に参加する。 手洗い場と手拭きの位置を見直し、混雑を避ける。	睡眠時間が安定する。 自分から手を洗おうとする。	睡眠時に戸外遊びでの経験が刺激になり、不安定になる子もいるので、ゆったりと個別にかかわるようにする。 ハンドソープを使用する場合は、誤飲のないよう、必ず保育士が管理をする。
	情緒	保育士に見守られながら安心して遊ぶ。	玩具の取り合いなどの可能性を考え、同じものを複数用意し、気持ち満ちたようにする。	特定の保育士とのかかわりで、安心して過ごすことができる。	落ち着いて過ごせるように、ゆったりとした雰囲気や、声色や表情に配慮しながらかかわる。
教育	健康	戸外活動が増えるので、こまめに水分補給をする。	戸外と室内の寒暖差に気を配り、暖房の温度をこまめに調節する。 汗をかくこともあるので、着替えを多めに用意していただく。	こまめに水分補給しようとする。	体調の変化が見られたら、こまめに検温し、顔色や様子など、保護者の方と共有し、無理のない活動を行う。
	人間関係	保育士や友だちへ関心を持ち、自分からかかわることを楽しむ。	安心してかかわれるよう、子どもの模倣を認め、共に喜び合う。	保育士や友だちの模倣をして楽しむ。	しぐさや行動だけではなく、わらべうたや手遊びを積極的に取り入れる。 食事エプロンを机に配るなど、簡単なお手伝いを楽しめるようにする。
	環境	靴での歩行に慣れ、秋の空気や自然を感じて遊ぶ。	園庭やお散歩の行き先、遊具の金具など、危険な点がないか日々点検しておく。	秋晴れの中、戸外で歩行を楽しみ、落ち葉や木の実に興味を持つ。	秋ならではの季節の変化を感じられるよう、保育士が言葉にして、落ち葉や木の実に親しみを持てるようにする。
	言語	身の回りの様々なことに興味を持ち、保育士とのやり取りを楽しむ。	子どもの思いを先取りせず、伝えようとしていることに耳を傾け、発語につながるよう分かりやすく語りかける。	喃語や発語で、保育士とのやり取りを楽しんでいる。 興味のあるものを指さしたり、保育士の元に行く。	個々に応じたかかわりをするので、一人ひとりが安心して発語ができるようにする。
	表現	絵の具に興味を持ち、手形での活動を楽しむ。	誤飲など起こらないよう絵の具の管理に気を配る。 楽しんで活動が出来るよう、保育士自身が楽しみ、興味を持てるようにする。	絵の具に興味を持ち、保育士と活動することで安心して取り組む。	絵の具の感触に驚いてしまう子もいるので、数日に分けて活動するなど、無理のないようにする。
食育		スプーンやコップに慣れ、自分から食べることを楽しむ。	介助スプーンを用意し、自分で達成できるよう、適度に見守りながら介助する。 自分で食べられたことを褒め、認める。	食具を使って自分から食べようとする。	手づかみ食べの子どもには、スティック野菜を準備するなど、個別に対応する。
健康・安全		戸外で過ごすことが多くなるので、室内との寒暖差や衣服の調節などに気を配る。 室内だけでなく、戸外の安全点検を行い、修理が必要であればその都度対応する。			
保護者支援		過ごしやすい季節になってきたが、汗をかきやすい子もいるので、着替えを多めに用意していただく。 戸外でも水分補給ができるよう、水筒を必ず持参していただく。			